

# 笑顔満庭

Vol.23

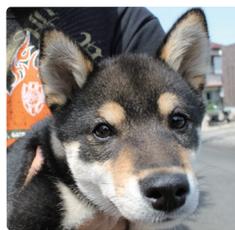
[egao-mantei]

## わが家の 家族 ペット紹介

vol.21でインタビューにお答えいただいた町田市のN様の新しいご家族です。このコーナーの出演をお待ちいただいていたました。お待ちしております！

### PROFILE

- サスケ君
- 1歳 男の子 ●豆柴



▲お散歩が大好きです\*

▲とってもフレンドリーなサスケ君



# TOSHIN

東神ハウス株式会社  
相模原市南区麻溝台 6-1-20  
042-745-8951



東神ハウスHPは  
コチラからどうぞ

## 掲載写真大募集!

わが家の家族を紹介してくださる方募集中です。  
メールに「わが家の家族」と入れて、写真をお送りください。  
info@toshin-house.com

QRコードから  
メールをお送り  
いただけます



## テーマ：服にまつわるエトセトラ

### スタッフ 便り

お客様担当：鈴木 康宏



来年の手帳が届きました。10年以上使っているヴァーチカルタイプで  
時間管理がしやすいスグレモノ！楽しい予定をたくさん入れます。

取り出すコート。  
メタセコイヤが黄金色に色づくころ、いそいそとクローゼットの中から

鼻の奥がツンとする乾いた空気の中にお気に入りのコートのポケットに手を入れて出掛けるのは冬の楽しみのひとつです。  
学生の頃、どんな服でもどこに行くのにも着ていたのはピーコート。厚手のウールが暖かくて、型崩れしにくい丈夫さは、ちゃんとハンガーにかけないズボラな性格にも合っていて重宝しました。そして訪れるDCブランドブーム。意味もなくスーツを着て出掛けていたころのお気に入りのコートは濃いキャメル色のロング丈。クラシックなシルエツトで裏地の感触まで思い出せます。



お気に入りのコートを着て！  
ダニエル・クレイグではありませんw

ただしメーカー、問屋の担当者、そして同業者までが同じジャンパーで「かぶる」ことがよくありましたけど・・・笑。

ほとんどの移動が車になり、ますますコートを着る機会も少なくなったのですが、夏休みに出かけた海外で出会ってしまったのが今のお気に入りのコート。常夏と言われるその地で、コートが売られていることに疑問を抱くことなく試着すると迷わずレジに。夏にコートを買う違和感はあるものの、その年の冬の景色を思い出しながら水着と一緒にスーツケースに詰めて帰国。一度電車の網棚の上に忘れてしまったこともあるけれど、無事戻って来てくれました。

仕事を始めるともっぱら必要なのはコートではなく汚れてもいいジャンパー。毎年取引先のアルミやブロックのメーカーが協賛してくれるジャンパーを着て現場を駆け回っていました。意外とちゃんとした作りのものが多く、協賛のメーカーのロゴが無ければ普通にデパートで売られていてもおかしくないようなもの。

そしてもう一着、特別のコートがクローゼットに。それは数年前に大変お世話になった方の思い出としてその奥様から頂いたもの。今、Tシャツの上からならギリギリ羽織れるのですが・・・この冬はセーターの上からそのコートを羽織れるよう、ちよっとだけ運動を増やさないといいないですね。



子供の頃からピーコートっぽいのが好きみたい

当社も質のいいコートのように、皆様の暮らしを暖めるお手伝いができる会社を目指していきたいと思っております。

スタッフ  
便り

お客様担当：隅谷 敏弘



先日焼肉屋さんに行ってきました。ひさしぶりに一緒にビールを注文。やはり、ベストマッチです！

洋服について言うと、僕は正直そんなにこだわりや好きなブランドはないかも…最近洋服を言うのは、買うつもりもなくふらっと入ったお店で、気に入ったものがあつたら購入というパターンが多いです。



仕事のときは爽やかに

だから、洋服を買うのにあれこれ悩むことがないんですよ。僕が若い頃は、パブル期でDCブランドが大流行。僕も丸井でブランド物の洋服ばかり買っていましたよ。肩パットが入ってパンツのウエスト位置は高く、ツータック。懐かしいです。いまは、仕事の時はお客様に不快感を与えないよう清潔で現場に出て汚れても気にならない洋服を心がけています。そして、休みの日は自分の好んで楽な格好をしていることが多いですね。考えると襟のない洋服が多く、色は濃いめの色が多いかもしれませんが、パステルカラーが似合わない自覚だけはあるんです。いまはジーパン(デニム?)も細身のスキニータイプが流行っていますが、今どきの足の長い若者ならいざ知らず、僕は体形に合ったものを選んでいきますよ。気持ちも洋服も、仕事とプライベートのON・OFFをきちんとつけるのが僕のこだわりなのかもしれません。

休日にはリラックス



休日はリラックス

今回、この文章を書いてみて、どうして古着が好きなのか、改めて分かった気がします。古着が好きと言うより、その一連の行動が好きという事ですね。

お客様窓口：立花 香



健康のためにとストレッチピラティスのスタジオへ申し込みをしましたがなかなか行けず逆にそれがストレスになりそうです。

私には一つ違いの姉がいるため、子供の頃の洋服と言えば必ずお下がりで、更にもう一つ上にもいとこがおり、ひどいときはいとこ姉↓私へと、もはやだれが着ていたのか分からない状態で廻ってきます。お下がり嫌で嫌で仕方なく、中学で姉の身長を越したときにはこれでお下がりが無くなる！と、小躍りしたくらいです。



不自然に肩紐が余っていますね

そんなお下がり生活が嫌いだったのにも関わらず、この何年かは古着屋さん巡りが大好きです。と言っても若い方たちのおしゃれな裏原などの古着屋さんではなく、フリマから始まり、フリマアプリ、リサイクルショップなどを「探検」します。好きなデザインかつお手頃価格なものを発見、購入し家に戻ってから戦利品を眺めるその時間が好きです。更に眺めるだけでなく、出掛ける時に着用し友人から「それ可愛い、どこで買ったの?」なんて聞かれようものなら、一気に鼻の穴を膨らませて「実はね…」と自慢するところまでが大好きな時間です。



古着のコートが大活躍です

今回、この文章を書いてみて、どうして古着が好きなのか、改めて分かった気がします。古着が好きと言うより、その一連の行動が好きという事ですね。

経理担当：和田 晴子



ようやく演奏会が再開されることになり、12月の本番に向けて猛練習しています。



注文したワンピースを着て修学旅行の一コマ

高校の修学旅行の時のもの、制服のない学校だったので注文して作ってもらったワンピースを着て写っています。見るとやはりサイズ感はピッタリですね。特に好きな服はありませんが、強いて言えばコーラスの舞台衣装が好きな服でしょうか。着ると背筋が伸び気持ち切り替わります。ブラウスは自分で作ったものです。人は着る服によって気分が変わるものですね。着ていて気持ちの良い服を選べたらいいと思います。



コーラス全員分の衣装を手作りしました



お客様窓口：鈴木 比呂子



夏前に植えた皇帝ダリア(短日植物)が、夜でも周囲が明るすぎるため花芽がつかず結構落ち込んでいます(ー)A、マシヤ...

年を重ねるにつれて段々と「着たい服」と「着ていい服」の乖離が大きくなってきています。もうとうに成人となった娘からは「誰に迷惑をかけるでなし、心残りがないように着たい服を着ればよし」と言われますが、結局似たような色やデザインの服ばかり選んでしまうこの数年です。

そんな私の「服」にまつわる思い出と言えば母の編んでくれた手編みの服。手先が器用だった母は、幼かった私にワンピースや帽子などを編んでくれました。大きくなって着られなくなると、ワンピースをほどこいてスカートに編み直してくれました。ほどくと縮れてしまう毛糸を、ストープにかけたやかんの口から出る蒸気にあてながらまた玉に巻き取っていく作業は幼い私にも手伝うことができる達成感がある作業でもあり、お気に入りの服が生まれ変わる魔法の作業でもありました。



こちらはスカート細い毛糸で編んでくれました



手編みの帽子をかぶってすましてます

私が年を重ねた分、母も高齢となりました。あの頃母がどんな気持ちで編み棒を動かしていたのかなあ、と思うと気持ちがあっさり温かくなる思い出です。

### NEW! 食いしん坊が行く

#### 移動販売車を使ったベーカリー「小麦の惑星」



▲このノボリが目じるしです

豊富な種類の生地を使って焼き上げられる様々なパンを日によって入れ替えるので一期一会が楽しめます。この日は定番のクロワッサン、アップルパイ、シナモンロール。そして全粒粉を使用したこだわりのイチジクスティックを購入して当社のスタッフと一緒に試食タイム！ウマウマです。特にクロワッサン。一口噛んだ瞬間ふわっと甘い香りが口に広がり、優しい気持ちになりました。

こっそり持ち帰ったアップルパイにバニラアイス乗せて頂いたのは秘密です(笑)

オーナーの田川さんに話を聞くと夜中の1:30から成型、焼き上げ作業、車へ積み込み後移動をして朝6時半頃にはお店に到着し準備をしているそうです。♪朝一番早いのは～パン屋～のおじさん(若いけど)♪って本当だったのね！全国に10台程度しかないというこの珍しいキッチンカーもおしゃれ。



▲毎日少しずつ種類が変わるそうです



▲オーナーの田川さんと鈴木



「小麦の惑星」 神奈川県相模原市中央区青葉2-10(ノボリとキッチンカーを探してください)  
営業時間：月により変動、売切れ次第終了、雨天中止です。 ※インスタをフォローしてチェックしてみてくださいね。



KOMUGINOWAKUSEI

## 菜園通信

和のつぶやき

育てるのが難しいと言われている白菜、キャベツですが、防虫ネット対策のおかげでこんなに大きく育ちました。もう大丈夫ですよ。結球するのを楽しみにしています。



白菜



こんなにキレイ!

紫キャベツ



結球しますように

スティックブロッコリー



茎も柔らかくて美味しい

イチゴ



3株に増やしました

「不便になっているところがありません。」

相模原市 田川大樹様

プレハブ工事

Q.プレハブを建てるきっかけを教えてください。

独立してパンの移動販売を始めるにあたり厨房が必要になったので小さなサイズも対応できるプレハブで建てようと思いました。

Q.当社にご依頼いただいた理由を教えてください。

最初は別の業者さんで中古のプレハブの見積りを取ったのですが思ったより高額で打合せも???でした。東神ハウスさんは近所で知っていたので立ち寄ってみたところ、担当の鈴木さんが相談に乗ってくれました。基礎や給排水、電気、厨房施設の大きさなどを考慮しながらの打合せは安心で、頂いた見積りも納得できるものでしたので工事をお願いすることにしました。

Q.工事中に何かお困りのことや不安な点はありましたか？

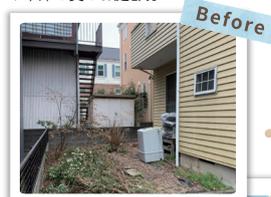
着工前からやり取りはスムーズで、何かあれば逐一相談したり、連絡をもらったりで全く不安はありませんでした。工事中は留守のことが多かったのですが、帰宅の度に工事が進んでいて、びっくりしました。

Q.東神ハウスに頼んでよかった点を教えてください。

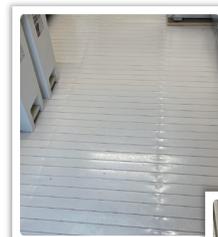
プレハブの大きさのことや食品を扱うために適した床材など、初めてのことでただ何となく分からない状態でしたが、いろいろ教えていただけて助かりました。コスト削減のために土のままにしていた入り口も、最後に鈴木さんが開店祝いと言って綺麗に砂利を敷いてくれたのは嬉しかったです。

それぞれの職人さんも丁寧な仕事で感謝しています。一人で作業するのに適度な大きさで電気や水道も使いやすく安心して作業ができています。今使っていて不便になっていないことがない、それがすごいことだなと思います。

▼車庫の奥のお庭部分



▲立派な厨房が建ちました



▲食品を扱うのに適した床材です

▼水周りもしっかりと



▲作業中の様子



▲販売の時とは違って職人さんですね



▲油を直接排水しないためのグリストラップ



▲きちんと処理をします



若くして独立されるということで、応援したい気持ちもありお手伝いさせていただきました。お褒めの言葉をたくさんいただけて感謝です。あの美味しいパンが当社で建てた厨房で作られていると思うと嬉しいです！販売店の「小麦の惑星」にはちょくちょく伺いたいと思います。

担当の鈴木より